おわりに

本報告書では、言語障害教育の専門性の維持・向上・継承に向けた方策や、ことばの教室がインクルーシブ教育システム構築において果たせる役割等についてまとめた。

本研究を通して、言語障害教育を中心に指導している、いわゆる「ことばの教室」は、言語障害教育の専門性を基盤としつつも、子どもの実態把握を確実に行うことや関係機関との連絡調整を行うことなど、幅広い専門性を持って活動していることが明らかになり、それに関連した研修を行い、担当教員の専門性の向上に努めている現状も明らかになった。

本報告書では、言語障害教育の専門性の維持・向上・継承に向けた様々な取組や工夫について紹介したが、今後さらに整理し、分かりやすいリーフレット等の作成を行っていきたいと考えている。

各地のことばの教室が行っている様々な取組や工夫は、地域のインクルーシブ教育システム構築の状況によっても異なり、取り入れることが可能なものもあれば、難しいものもあると考えられる。しかし、本報告書で提供したことばの教室のもつ可能性を理解していただき、ことばの教室を担当する教員が、自らの仕事の可能性や魅力を発見・再発見したり、担当教員の専門性向上に向けた意欲につなげていただけたりすれば幸いである。

本研究を進めるにあたり、研究協力機関、研究協力者をはじめ、意見交換会に参加くださった事務局の先生方、調査にご回答いただいた皆様、関係の皆様に深く感謝いたします。

研究代表者　研修事業部　小林　倫代

基幹研究

「ことばの教室」がインクルーシブ教育システム構築に果たす役割に関する実際的研究

－言語障害教育の専門性の活用－

平成 27 年度～28 年度

研究成果報告書

研究代表者　小林　倫代

平成 29 年 3 月

著作　独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発行　独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

TEL：046-839-6803

FAX：046-839-6918

http://www.nise.go.jp

NISE

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。